

はな ちゅうしん
花の中心にニードルを刺して糸を通します。/



フラを踊る際には、曲にちなんだ花を身につけます。今回踊るのはマウイ島の曲なので、まずは島花「ロケラニ」のレイ作りからスタート。



フラは笑顔があふれる踊り。楽しんで踊ってくださいね。



おし
教えてくれるのは、
ひろみフラスクールの
ひらいでひろみ
平出 宏美さん。

スタート
START!



フラガールに憧れています!



できました!!

ロケラニはハワイの言葉で「天国のバラ」の意味

ゆめかなエール

今回は フラガール

子どもたちの“ゆめ”を、その道のスペシャリストが教えます。

今回は、会津若松市の松井 香凛さん(8歳)の“ゆめ”にエールをおくります。

幼稚園の時にいわきでフラダンスショーを見て、フラガールの踊りに感動したという香凛さん。本格的に教えてもらうのは初めてだそうです。ワクワクドキドキの体験の始まりです!

今度は楽器を持って踊ってみたいです!



曲を踊る時に使用する楽器も体験しました! ひょうたんを使った「イプ」やココナツ殻の「プニウ」など見慣れない楽器がいっぱい。



プニウ

ウリウリ



フイリ

フィニッシュ
FINISH!



フラが好きって気持ちが伝わる素敵な踊りでしたよ!

まずは振り付け練習!



踊り本番はウクシシの生演奏付き!



フラの動きには一つ一つ意味があります。今回踊った「コアリ」には波や海藻の香りがかぐ様子などが表されています。



ゆめかなエールではみんなのゆめを募集中!
詳しくは11ページを見てね★

※取材協力: ひろみフラスクール(会津若松市)